京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬七
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五大番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

電鐵事業 公園經營論（二）

岡崎遠光

第二、公園と都市（上）

公共遊覧地の源は蓋し個人の庭園又は閻圃に發したるものならん泰西に於ては埃及、亞西利亞、波斯、希臘、羅馬等の時代既に公園の設備あり文藝復興時代に反しては幽美を盡し雄壯を極めたる庭園到る處に設けられたりと云ふ現今に於ては倫敦の「ハイドパーク」巴里の「ボアドブーローニュ」伯林の「ティーア、ガルテン」紐育の「セントラルパーク」等、有數の都會には必ず著名の公園あり或は天然の美を以て誇るあり或は人工の精を以て勝るあり或は兩式兼備あり或は固有の風致を保つあり或は近世的嗜好を衒ふあり往時に於ける帝王の遊園地、貴族の狩獵地、郡國の要塞、富豪の別墅等の推移して現今の公園となれるものあり其の狀一樣ならず

支那に於ける遊樂地の幽趣は之を其の古聖賢の詩文中に彷彿することを得、我か國に於ては蓋し平安朝に至りて庭園の規模稍々見るべく遊覧地は社寺の建立及上流社會に於ける遊樂の風習に伴つて頗る發展し來りたるもの、如し明治六年一月公園に關する大政官の布告出で爾來勝巳、舊跡、城址、古刹神社の境內、元御料地等群衆遊覧の地を公園と命名せり其の大なるものは奈良公園の百五十萬坪、嚴島公園の百三十萬坪なり公園は其の名の如く公の營造物の一種なるを以て其の地租の免除せらる是れ當然の理なり

抑々電氣鐵道が市民に寄與する福利をして益々增進せしめんことを圖るは會社に取り德義上の第一義務なるが故に會社は自ら公園又は遊樂場を設置し公衆の娛樂、慰安、衛生等の用に供し併せて是に由りて營業收益をも增加せんとするは眞に機宜に適したる計畫なりと謂ふべし此の趨勢は歐米及び內地の大小都會に於て實現せられつゝあり今合衆國に於ける電鐵會社の直營公園の情勢に徴するに人口五十萬以上の都市としては僅に「フィラデルファャ」「ビッツバーグ」及び「バーナモア」の三市に過ぎず其の他は大抵五十萬以下の都市なり是れ大都會に於ては公共團体自ら公園を經營する甚だ容易なれども小都會に於ては其の經費の上に於て頗る困難を感ずるを以て已を得ず電鐵會社自ら進んで之が任に當る而して米國に於ける街鐵は殆ど其の全部が私立會社の經營に係るを以て小都會に於ける公園も亦私營に係るもの少からず

內地の電氣鐵道の事例に徴するに東京大阪の如き市營電鐵に於ては直接經營に屬する公園を有せざるも他の私立電鐵會社殊に阪神を中心とせるものは大抵之が設備を有せり其の最も著大なるものを擧ぐれば南海電氣鐵道會社に於ける濱寺遊園地、阪神電氣鐵道會社に於ける香櫨園、京阪電氣鐵道會社に於ける香里園、兵庫電氣鐵道會社に於ける須磨寺遊園地等の如し是等は何れも直接或は間接に私立會社の經營に係るものなり就中濱寺遊園地及香櫨園は其の稍々驚くべきものにして其の他は最近の開設に係る又現に設備中に屬するものあり（此項つゞく）

スカンヂナビヤ 一年間の見聞（十三）

在瑞典ストックホルム 三浦彌五郎

▲防寒の爲めの二重窓 は人の知る所なれども家の入口を二重にすることは朝鮮にては未だ多く行はれ居らざるなり尤も敷地及資力に餘裕少なき商店等にて二重入口を設くるが如きは事情の許さゞるものもあるべきも例へば總督府の建物其他の官衙、郵便局、停車場の待合室の如き頻繁に人の出入する所にては二重入口は是非共必要なるべし如何にストーブを赤くするも火鉢の火を盛にするも一重の入口を頻繁に開閉すれば外界の寒き空氣は一時の流入し來るを以て室內の暖なるべき筈なし總督府入口の玄關番が冬季常に戰慄し居るを見ても之を知るを得べし、公使館に接近し居る當地の郵便支局は多は三重の入口を有す最も外部の第一の入口は普通の二枚戸、次の第二、第三の戸は上部に蝶番を設き押せば開き放せば倸に戻る二枚戸にして夏季は取り外し置くなり、蝶番も工合能く出來居り且つ戸の緣には音のせざる樣羅紗を附す實は先年醫室設備調査の爲め當地に來りたる一本邦人は當國の二重及三重入口の設備を見て頻りに感服し感心したりとの事を聞きたるに付特に附記する次第なり

▲家屋の種類 市街家屋は煉瓦造石造多も田舎の木造家屋を見るに屋根の勾配は頗る急にして降雪の際にも雪は屋上に止ることなし、又周圍の壁及板の間には一種ラベロイドに似たる厚紙の如きものに油樣のものを塗りたるを一体に挿入しあるなり、防寒上必要なりとの事にて何れの家も斯くせざるはなし、未だ其の如何なる物なるかを精査せざれども平安咸鏡二道の如き寒き場所にて隙間多き一重壁一重床の構造にては到底凌ぎの付く筈なきを以て最も婆心ながら一言す

▲綿入の外套 予は寒中當地の電車の車掌自動車馬車の馭者の如き者は如何なる外套を使用し居るかを爲念注意したるに彼等の外套の羅紗は普通のものなれども其の內に羊毛を交へ又は交へずして鼠色に染め厚き布の如くなしたる綿を入れ居るなり、我眞綿又は木綿綿も同樣の効あるべきも入れたる綿は一方に寄り易きを以て裏より糸にて十分に縫ひ付け置かざるべからず然るに當地の右の綿は其質も輕く且つ羅紗の如く一枚に出來上り居りて一々裏より縫ひ止めずとも動くことなし右は洋服屋などは知り居るならんも知らざる者もあるべきに付爲念其の見本一片を御送附致すべし（見本在本社）

公債株式現物專門
現物問屋 曾野峻輔商店
京城南山町三丁目 電話一四〇九番

外事一束

▲英國 政府一般的同盟の勃興を慮り陸海軍に命じて大規模の警戒を執れり
▲倫敦 銅株式市場に於ては清國公債買出再出したる爲めに騰貴し好況なり
▲紐育 物價騰貴の喚聲到る所に起り知名の僧侶等之れが救濟策として合同
▲雜貨 店を開き雜貨野菜類を貧民に元價にて販賣し商人等の反對猛烈なり
▲墺國 外相エーレンタール伯の病狀は頗る重態にして全然執務する能はず
▲外相 遂に辭職を申出するも皇帝は健康の回復を信じ長期賜に決定すと云ふ
▲獨逸 政府二月歸國すべき膠州灣入津の守備兵五百名に滯留を命ずといふ

三菱石炭
三菱合資會社石炭部朝鮮代理店
泉商會
京城長谷川町二丁目 電話三九〇番

梁川庄八

小金井蘆洲演

第九十二回

庄『是より參州の吉田に取て返し、城下の豊橋から伊勢の四日市に出る便船がござる、是れに乘つて行くことにすれば、尾張の國は一足も通らずして、直に伊勢へ渡れる然うして都に上りになるが宜かろう、先剋より承る所に依れば各々方は路用の金子に乏しき樣子甚だ輕少ではあるが聊か拙者に持合せの路用がござるに依て之れを各々に參らせよう』とて惜氣もなく二十兩の金子を浪人夫婦の前に差出しました、兩人は夢かとばかりに打悦び押戴き、兩『御意に甘へて御恩借仕る始めて御目にかゝりし其許に、危難を救ふて貰うのみか斯樣な大金まで……』庄『いや武士は相見互と申す、禮には及ばぬ何れ上京の上は滿寺へ尋ね申す、些とも早く吉田の宿に取て返して身の安泰を計り給へ、其許一人なれば兎も角女子を伴ふて居つては身は自由に成らぬもの、疾く〳〵急き給へ』浪『然らば仰せに從ひ此場を去て吉田の宿に赴き申すべし、御恩は誓つて忘却仕らず』と夫婦諸共庄八の義心深きに感涙を催しつゝ、其金子を押戴きて懷に藏め徹鮒の水を得たる心地、喜しさ胸に溢れて足の踏度を忘るゝ許りに、數多度庄八を伏拜み〳〵吉田を指して立出でました、此方は庄八二人の人足を右と左に瞰散して意氣揚々と鳴海の宿を指して參りまする 最前からの容子を立佇んで見て居た人々口々に 甲『ヘェ……何と偉いお方ぢやありませんか、彼の御武家樣は……宜い氣味でしたね』乙『左樣雲介の奴等酷い目に會ましたね』丙『此街道中で何處が惡いと云て大井川を間に狹んで、島田金谷夫に此の鳴海ですせ馴れぬ人は何んなに役人や雲介に難題を云掛られて難儀するか知れませんや、マァー宜い氣味でした』と褒めそやして居る折柄向ふの方に當つて人聲喧しう『あれ〳〵彼れだ』と云ふ聲が盛んに起つた見れば人足が彼此れ二三十名、てん〳〵手に獲物々々を携へて鳴海の宿の問屋場役人之を從へ早くも庄八の周邊を取圍ませ宿役人と覺しき者庄八に向ひ 役『時に御浪人其許は人足二人を殺して關所破りの浪人夫婦を助たと云ふことであるが、然る上は此鳴海の宿の法通り取扱はなければならぬ、兎も角問屋場まで同道なさい』と息巻荒く呼はれば、梁川庄八呵々と打笑い 庄『其方が迎へに來らずとも乃公より問屋場へ參つて掛合ふ心算であつた、いや出迎へ大儀に存ずる早々案內しろ、人足共無禮なせば手は見せんぞ』と刀の鯉口を寛げ左右を見廻せば 人『手を見せんぞとは呆れて物が云へぬ、さあ〳〵問屋場へ引立つて行て目に物見せてやるからそう思へ』と大地を叩いて罵り叫ぶ聲拗も蒼蠅し、庄八は泰然として更に恐るゝ氣色なし、又問屋場役人も 役『謂れなくして浪人共に無禮をするな、其方共の鬱憤は乃公等が霽らして遣はすから問屋場静かにしなさい』と大勢の人足を制しつ、庄八を案內して問屋場へ參つた、人足等は土間にどし〳〵踏込で旦那駝りと坪を明て下せへ此坪が明ねへ中は御傳馬御用は勤めねへぞ、假令領主樣の荷物でも手を着けねへぞ、充分に掛合を付けて鳴海の者の名折れにならねへやうに爲て下せへ、殺された當人は權次に勘六何卒旦那二人の仇を取て下せへ』と蠢めき渡れば 役『靜に〳〵何の爲に問屋場役人だ、手前達を支配して居るぢやないか、云はゞ日頃我等の子のやうに思つて居る手前達、決して鳴海の宿の恥になるやうに掛合は爲ないぞ、併し然う騒ぎ立てられては何を云ふにも掛合の妨げだ鳴を鎮めて聞て居ろ』人『何卒旦那駝かりた願ひ申しやす』宿『さあた武家今云ふ通り人足共が坪が明かぬ中は御領主樣の荷物でも動かさぬと云ふ決心をして居るからは此鳴海の宿の御傳馬に差支へる、何は兎もあれ其許の生國、並にお名前を承はり當所代官久永喜一郎樣に御訴へ申して、御役人の御裁判を頂戴して理非曲直を分明にして貰はなければなりません』庄『尤な申し條だ速かに乃公を相手取つて訴へさつしやい、乃公も亦其方等を相手取つて新たに訴へを起す何れが善か何れが惡か代官久永喜一郎の吟味を受けたらば分るだろう、斯く云ふ乃公の希望は其方共の首を殘らず切つて此宿の入口の獄門臺に梟し、後來の戒めとする心得であるに依て遠慮なく乃公を相手取つて訴へよ』と落付き拂つて更に恐るゝ氣色もなく云話しました。

かぜねつさまし
アセチリン

廣告

會席御料理 仕出し
旭町公園下
電話 一三九
大廣間あり

二月號
新刊雜誌着

雜誌名	定價	郵税
新日本	二六〇	三〇
冒險世界	一五〇	五〇
太陽	三〇〇	三〇
鮮朝及滿州	一五〇	二五
中央公論	二〇〇	二〇
新公論	二〇〇	二〇
實業界	一八〇	一五
實業之日本	一一〇	一五
實業倶樂部	一五〇	一五
國民雜誌	一五〇	一五
成功	一六〇	一五
大國民	一五〇	一〇
精神修養	一五〇	二〇
婦女界	一六〇	一五
女學世界	二〇〇	三〇
婦人世界	一五〇	一五
女學生	一六〇	一五
婦人の鑑	一五〇	二〇
文藝倶樂部	二五〇	二〇
[illegible]小說	三〇〇	三〇
演藝畫報	三〇〇	三〇
婦人畫報	二五〇	三〇
雄辯	[illegible]	二〇
美人畫報	三〇〇	二〇
大阪パック	一二〇	一〇
東京パック	一三〇	一〇
クラヒック	一九〇	一〇
サンデー	一〇〇	一〇
日曜畫報	一〇〇	一〇
文章世界	二〇〇	二〇
日本及日人	三〇〇	二〇
幼年	一〇〇	一〇
國民雜誌	二五〇	二五
總督府月報	三二〇	三〇
西行案內	一〇〇	一五

京城本町二丁目
日韓書房
振替口座一一五

競賣廣告

京城中部外相思洞廿九統七戸見付商店兵藤遠氏營業の爲め書畫骨董珍器類は今回京に什舞相成候に付來る四日午前十時より午後六時まで當會社に於て右競賣致候間御來觀被成下度候
追而來る三日迄毎日午前十時より午後六時迄當會社樓上に陳列致在候間御來觀被成下度候
●書籍 約二千冊
●朝鮮支那古書畫 約三百幅
●古法帖拓本類 約三百點
●古書屏風 三十張
●古畫メクリ 種々
●朝鮮支那 約三百點
●銀細工物 約二貫目
●寶珠珊瑚內拓細工 數百點
●朝鮮青貝作器物 五百點
●高麗燒 約三百個
●硯 三十個
●戸棚外雜品 一切
明治四十五年二月一日
京城競賣株式會社
南大門通り三丁目 電話七八四番

謹啓當檢番開業以來茲に一週年を經過し幸に益々發展の氣運に立ち至りしは大方諸君の御引立に依るものと只管奉感謝候就ては開業一週年を祝する爲め來る四日より三日間壽座に於て藝妓芝居開催仕候間賑々敷く御來觀相成り度伏て奉希望候
二月一日
京城券番

東京電報

▲**汪公使辭職す** 駐日清國公使汪大燮以下館員一同は袁世凱に辭職を電請し袁世凱よりは歸國の電命ありしも汪の歸國するや否やは不明なるが昨今長崎滯留中の李經芳と何事か交渉を重ねをれり

▲**鑛山擔保借欵說** 或筋に達したる情報によれば革命軍政府は財政缺乏の結果大冶萍鄕漢陽の三鐵鑛を擔保とし米國に對し借欵交渉中なるが右大冶鐵鑛は總資本金二千萬圓にして其內我政府及民間實業家の出資千四百萬圓に達し清國人側の出資は僅かに六百萬圓に過ぎず

▲**米國と日本移民** 米國元老院に於ける委員會は移民排斥法を改正し日本勞働者に對する條項を削除せり

▲**葡國罷工鎭定** 葡國リスボンに於ける罷工同盟は鎭定せり

▲**總選擧の期日** 衆議院議員總撰擧は五月十五日に決せられんとす

▲**清帝退位決す** 清國皇帝退位は愈々決定せりと報あり

▲**陰謀者の捕縛** 葡國に於ける王黨のフランコゲン氏は政府顛覆陰謀の廉にて捕縛されたり

北京特電

▲**愈々決定せし乎** 清帝が政治上の權利を離れ祭祀典禮のみを司るべしとの上諭は來る四日を以て下るべし而して其と同時に天津に假政府を設け國民議會を招集し正副大統領を選擧し南京政府を取消す可しとの上諭も發表さるべし

▲**無條件停戰** 官革兩軍の停戰期繼續の件は其後何等決定する所なきも官軍の段司令官と革軍の將軍黎元洪との間に已に兩軍は戰鬪行爲を執らざる事を協定し共に袁總理及び伍廷芳に電牒したり然れば此方面は之に依り永久停戰を見ること丶なるべし其他各地も双方同樣の延期を見るに至るべし

▲**官軍引揚通知** 官軍は二十八日夜廣水を引揚げたる旨司令官段琪瑞より漢口の領事團に通知をなせり

▲**中立と滅亡紀念** 北京政府郵傳部は今後臨時中立をなすこととあるべしと外交團に通知せり尙同部は近く清朝滅亡すべきに付き紀念切手の發行を計劃しをれり

▲**芝罘市民恐慌** 芝罘にては數日來官軍來襲の噂高く事實其模樣なきも市民の恐慌甚だしく戰線地方より市中に逃がれ來る者多く市中は恐怖の念に充され混雜を極めをれり

▲**退位尙未確定** 一日北京宮廷內の御前會議は議論百出せしが結局皇帝は政治上の權を抛棄し君臣の名を存し祭祀典禮のみ掌ることに決したるもの丶如く近く其上諭出づべし

▲**萬一を慮り增兵** 袁世凱は數日來五千の兵を增員し退位決行に伴ふ北京の動搖に備へ居れりと

雜報

●**督府新築準備** 總督府にては來る四十五年度より向ふ五ケ年の繼續事業として元景福宮跡に廳舍を新築すべしとは既報の如くなるが先づ明四十五年度は單に新築の調査及設計を爲すに過ぎずして本工事に着手すべきは多分來る四十六年度頃よりなるべしと云ふ

●**司法官會議** 總督府にては來る六日高等法院長及同檢事長、京城平壤大邱の各控訴院の院長及檢事長を召集し約一週間司法部會議室に於て會議を開く事に決し既に大邱、平壤の各院長檢事長に出府命令を發したり

●**地方廳新築調査** 總督府にては昨年來各道廳を新築すべく調査中にして今尙ほ右調査完了せざるが京畿道及び平安南道慶尙北道を除くの外何れも舊韓國政府時代に使用したる觀察道又は財務監督局の舊廳舍を其の儘使用し來れるものにして之れの調査完了は四十五年度中に終了を告ぐべく而して新築工事は四十六年度より着手するに至るべき豫定なりと

●**道長官の辯明** ……敎員轉任問題に就て……昨報龍山小學校瀾上訓導轉任問題に關し記者は事實の眞相を的確にせんが爲め二日午後檜垣京畿道長官を訪ひ同問題に就き官憲側の意見を叩く長官曰く『轉任問題に就て大分八ケ間敷言ふて居るものがあるが何うも致方がない何にも當局では最初から民團を無視する樣な考へがあつた譯ではなく又管理者たる民長に一應商議することの穩當である位な事は能く承知して居る殊更に監督官廳の權限を笠に着て民長の職權を度外視するなど丶の考へは毫頭ない併し事柄が事柄であつた爲め監督官廳に於て斷行し民長には事後承諾を求めた譯である時と場合に依つて臨機の處置を取るのも亦之れ監督官廳として已むを得ぬ次第である而して今回の一事を以て將來に於ける例と見做されては洵に困る夫れは民長も能く承知の筈だ要するに其の時々の事情に依つて處置の總ることは致方がない夫れから貴問の轉任ツマリ轉任の性質問題之れは元より學校の根本的組織上及び資格上轉任といふ事は出來ぬされば今回のソレは一旦職を免し同時に他に任命したのである……ナニ一旦免職となつたものに對して官憲が此方から進んで任命するといふ例があるかと……夫れは差支ない日本の官吏は何れも天皇の命と憲法の保障とに依つて其の職に從事して居るものである云々』末尾に辯明大に明瞭を欠くの嫌ありしは記者の遺憾とする所なり

●**稅關監視署增置** 稅關監視署及監所增設費として(內滿鮮鐵道の連絡を含む)來年度歲出臨時部に五萬八千六百九十四圓を計上したるが其の計畫を聞くに增置個所は五六個所にて設置すべき位置は未だ明言する限りに非ざるも要するに國境貿易の取締上同地方に二三個所北鮮西湖津に一個所其他一二個所の豫定なりと

●**長官會議休會** 一日の總督府に於ける定例長官會議は寺內總督病氣引籠中の爲め休會したり

●**總督の病狀輕快** 過日來風邪にて引籠り加療中なる寺內總督には昨今經過最も良好にして三四日中には登廳政務を視るに至るべしと云ふ

●**政務總監東上** 既記の如く山縣政務總監には二日午前九時三十分南大門驛發列車にて桑原秘書官を隨ひ東上の途に就きたるが停車場には倉富、石塚、宇佐美、小松の各部局長官明石總長、小宮次官、國分局長、柴參謀長、吉原副總裁其他文武官々民新聞通信員の見送り盛大なりしと

●**民團稅制整理案**(二)

京城居留民團稅則

第一條 京城居留民團に於て徵收する稅目左の如し
『戶別稅』『土地稅』『營業稅』『雜種稅』

第二條 戶別稅の賦課額は左の標準を以て之れを定む
一、俸給生活者『所得額』
二、其他『家屋の賃貸價格』『營業稅、雜種稅を納めざる所得』

第三條 土地稅の賦課額は下の標準を以て之を定む『地價』

第四條 營業稅の賦課額は左の業目に定むる處の標準を以て之れを定む
一、物品販賣業、委託販賣業、寫眞業、宿屋業、運送業、製造業、印刷業、席貸業
家屋の賃貸價格又は從業者の人員に依り等級を設け一定の稅額を定め其稅額、家屋の賃貸價格、從業者
二、銀行業、金錢物品貸付業、鐵道業、貿易商
家屋の賃貸價格、實收入額
三、仲買業、代辯業、仲立業、公なる周旋業
家屋賃貸價格、從業者、報償額
四、代書業
家屋賃貸價格、從業者
五、保險業
家屋の賃貸價格、保險契約高、從業者
六、請負業
家屋賃貸價格、從業者、請負金高
七、倉庫業
家屋賃貸價格、從業者
八、其他の商業
前各號の業目に最も近きもの丶標準に依る

第五條 雜種稅の賦課額は左の業目に定むる處の標準を以て之れを定む

年稅
一、料理店、待合茶屋、遊戲場、飲食店
家屋賃貸價格、第四條第一號に定めたる一定の稅額
二、湯屋
實收入
三、理髮人
家屋賃貸價格、從業者、第四條第一號に定めたる一定の稅額
四、諸職工
各人員
五、芝居茶屋
從業者
六、人力車、乘合馬車、自轉車、荷積牛馬車、荷車、丁稚車、船
各個數

月稅
一、諸興行場、市場
家屋賃貸價格
二、劵番、藝妓置屋
藝妓員數
三、藝妓、仲居及酌婦、幇間、遊藝師匠、遊藝稼人
各人員

日稅
一、演劇、諸興行、寄席、遊覽所、相撲、俳優、遊藝稼人
觀聽客料金
一、屠場稅、屠畜稅
屠殺頭數
一、季節稅
家屋賃貸價格、第四條第一號に定めたる一定の稅額

第七條 課稅標準額は每年四月一日現在の納稅者に依り之れを査定す
課稅標準中第二條第一號の所得額中財產より生ずる所得及第二號の所得第四條第五條の實收入、報償額、請負金の標準額は居留民會の決議を以て之を定め其他の標準額は民長之を定む
新に納稅義務の發生したるもの及通稅、脫稅者の標準額は民長之を定む
年度內前各項に於ける課稅標準額に著しく異動を生じたるものあるときは民長に於て之を變更することを得

第七條 戶別稅、土地稅、營業稅、雜種稅の賦課率は每年度居留民會の決議を以て之れを定む

第八條 民團稅の賦課徵收に關しては別に定めたる規則に依る

附則

第九條 本則は明治何年何月何日より之を施行す

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一懸賞金壹百圓

一當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一當選論文の決定は本社爲斯鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一應募締切期限は來る三月一日とす

一當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらる丶方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かる丶事

一應募入論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●**衞生會の事業** 漢城衞生會昨年中(自四月至十二月)の事業成績を聞くに費用の徵收中最も苦險を嘗めたる鮮人側間數割の徵收は漸次順調の域に進み年末の現在を見るに調定額に對し九割五分弱の實收成績を示し又內地人は四割、諸官衙直接契約に係る分は總て豫期の收入を得つ丶あり即ち左の如し

	調定額(圓)	實收額(圓)
鮮人間數割	四七、七六六、八二	四五、三九二、八六
內地人々口割	二〇、〇〇〇、〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇
諸官衙負擔	三、四三一、三三	三、三三九、四九
肥料賣却	四、二八六、五九	四、二八三、四九
廢物賣却	五三六、〇八	五三六、〇八
雜收入	三九四、六〇	三、三九四、六〇
計	七六、四三五、四一	七三、九一七、二四

にして缺損額は九百三圓九十六錢未收入額一千六百十四圓二十一錢に過ぎず而して經費の支出は經常臨時を合せ十二萬九千百一圓二十九錢にして就中一萬五百五十三圓二十錢は順化院に對する支出なるを以て實際の事業費は十一萬八千五百四十八圓六錢なりとす

●**米國領事館員異動** 十一月中大連米國領事館附通譯生として赴任せる元京城同國領事館通譯チビル氏は前任者の任期間在任し期間滿了に付今回再び當京城同國總領事館在勤を命ぜられ去る三十日來任又當時チビル氏の後任として是迄在勤の通譯カーチス氏はチビル氏再來により是又再び東京大使館附として兩三日前東上せり

●**總督夫人の着期** 一日東京を出發したる寺內總督夫人には三日午後八時南大門驛着京の由

●**訴訟印紙法の改正** 行政財政整理に伴ひ訴訟手續の統一を圖るべく近く訴訟印紙法改正の議あり目下當局に於て之が原案作成中なりと

●**民會と稅制調査案** 京城民會は二日午後三時より民團樓上に於て開會せるが議案は稅制調査にて各議員の討論あり同六時閉會したり

●**公園開設計畫** 日韓瓦斯電氣會社にては阪神電氣會社の例に倣ひ京城市街の繁榮と市民の利便とを圖らんが爲め淸凉里、麻浦、舊龍山邊の何れかに大公園を開設し公園內には音樂堂、庭球場、動物園及び其の他四季折々の遊戲場を設けんとするの下計畫ある由なるが面積は約三萬坪にて右は其の土地の官公衙に屬する分は下附を願ひ經費は約四萬圓を要すべしとのことなり

●**仁川の手形交換高** 一月中仁川に於ける手形交換高は枚數千九百三十枚金額八十九萬五千七百六十八圓六十九錢交換差額四十六萬四千五百四圓八十四錢にして之を前年一月の千七百三枚九十萬九千二百九圓六十八錢に比すれば少しく減少しつ丶あり其は本年米穀の出廻り少なきに因るものなりと

●**京城徵稅成績** 一月十五日現計に係る京畿道管內に於ける四十四年度第二期諸稅及び驛屯土徵收成績を聞くに諸稅は地稅の調定額五十四萬二千七百圓未收入六萬二十九圓家屋稅は調定額七萬七千〇八十三圓未收入二萬九千九百十圓戶稅は調定額六萬二千七百九十二圓未收入一千六百七十四圓酒稅は三萬六千八百三十八圓未收入一萬七百四十七圓煙草稅は調定額三萬四千二百三十五圓未收入一萬二千八百九十一圓鑛稅は調定額一萬八千九百七十二圓未收入八千二百七十九圓其他諸稅は調定額四千百〇一圓未收入千八百二十三圓にして即ち其の收入步合は地稅八割八分戶稅九割七分家屋稅七割一分酒稅七割煙草稅六割二分鑛稅二割其他諸稅四割七分を示し此等諸稅は總調定額七十七萬七千七百二十一圓に對し總未收入は十三萬七千八百八十一圓にして平均收入步合八割三步を示す又た驛屯土收入は調定額十六萬〇六百五十一圓に對し未收入は一萬二千五百二十八圓にして收入步合は九割一步の好成績を示すを以て此等諸稅驛屯土收入調定額を合算すれば九十三萬八千三百七十二圓に上れど未收入は僅に十三萬七千八百八十一圓にして總收入步合八割一分に達し前年度に比し徵稅成績は非常なる良好を示しをるが而も管內中最も徵稅成績の不良なる京城府外四郡を除けば其の總收入步合は優に九割三分に上るものなりと

●**商品陳列館と即賣** 永樂町朝鮮總督府商品陳列館にては目下は唯だ參考商品の陳列觀覽のみを行ひ居り往々觀覽者にして陳列商品の讓與を希望する者等あれど之れに應ずるを得ず產業獎勵其他の諸點より考ふるも陳列商品の賣渡し等に依り之れが分布を計るは極めて利益多かるべきを以て近く取調局廳舍跡へ移轉を了すると共に其の陳列商品の賣渡し價格に於て市中商店との衝突を來さゞる範圍內に於て一般希望者に陳列商品の賣渡しをも開始せんかと目下之れが考案中なりと

●**避難淸人來仁** 一日午後三時仁川入港淸國汽船姜成源號は芝罘より避難せる淸國人三十餘名を搭載し來たりしが在仁川の淸國人は孰れも官革兩軍の模樣を聞かんがため同船の入港に先立ち埠頭に集合し時ならぬ賑ひを呈したり而して該避難民中には現に仁川在留豪商春記棧、永來盛等の家族も加はりをり之等避難者の語る所によれば去月二十八日山東省登州府黃縣等にて官革兩軍の衝突あり官軍破れて濟南府方面に退却し革軍は龍江を占領したるが其後官軍大擧して來戰すべしとの報傳はるや同地方民は續々靑島方面に避難し芝罘の如きは去月三十一日より各商店門戶を鎖し避難の準備に忙殺されつ丶あり其避難地を仁川其他朝鮮內に定むるもの多しといふ

●**青年實業團計畫** 曩に表彰されたる京城各商店勤續者の發起にて同表彰を紀念すべく近く當地に靑年實業團を組織せんと目下頻りに計畫中なり

●**蓆叺製造傳習成績** 京畿道廳にては過般來蓆、繩、叺製造法の傳習を開始し管內京城府は廿名他各府郡は各十四名宛の鮮人傳習生をして右傳習をなさしめつ丶あるが一月末に於ては既に一二郡を除くの外は全部其の講習を終り傳習開始當時に於ては製織法に不馴れの爲め之れを厭ふの風ありしも傳習の進むと共に漸次熱心の風を養成し之れが卒業生は概して其の技術の如き大に見るべきものあるに至りしと

●**淨土宗青年會講演** 當地淨土宗青年會にては第四十八回講演會を三日午後七時より大和町開敎院に於て開催久家開敎使の『養氣論』渡邊彰氏の『朝鮮の佛敎』と題せる講演ある由

●**商品陳列館の觀覽者** 朝鮮總督府商品陳列館の一月中開館日數は二十一日にして觀覽人員は總計二千五百四十六人に上り其の內千百二十九人は內地人千四百十一人は朝鮮人殘餘六名は諸外國人にて一日平均觀覽者百二十一人強

●**第一艦隊の愛婦會謝狀** 此程仁川に入港せる第一艦隊下士卒見學入京に際し愛國婦人會の慰勞接待に對し第一艦隊より朝鮮本部宛丁寧なる謝狀を送付し來れり

●**中山大佐の送別會** 二日午後六時より花月樓に於て中山大佐の送別會を開かれたるが出席者は倉富、石塚、小宮、池田、俵、明石、宇佐美、菊池、小松、國分、小倉、小原、大西、柴、山縣、山形、佐竹の諸氏にして盛會を極めたりと

公人私人

▲松枝元三(慶南技師)一日投宿浦尾へ
▲廣川喜之助(載寧憲兵分隊特務曹長)同日載寧へ
▲福田信次(三菱合名會社門司支店長)同日釜山へ
▲守部鹿治郞(醫學士)同日成歡へ

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
二月一日	一五八、九二七、〇三〇	五五七

▲茶袋▼

衆議院の豫算分科會に於て、加藤代議士が朝鮮在勤官吏の加俸に就て質問せしに對し、政府委員たる荒井度支部長官は、朝鮮は生活費が高いから加俸の必要ありと答へてをる△然し吾輩の見る所では、朝鮮に於ける生活は內地に比し幾分かは費用のかゝる點もあらうが、今日の如き總督府官吏加俸率を必要とする程に違つては居らぬ△全体朝鮮在勤官吏の手當は其仕事の割合に多う過ぎる、現在の加俸率を半額位に減じたからとて、其生活上に影響を及ぼすが如き事は決して無い、豫算審議の衝に當れる議員諸士は唯政府委員の言ふ事ばかりを信ぜず此點に細かい注意を拂つて欲しいものだ△一日仁川入港の淸國汽船は芝罘方面よりの避難者三十餘名を搭載して來たが我帝國民はこれ等不幸なる支那國民に對し大に同情の意を表し、彼等を慰藉するに努むべし、其に付ては曾て本紙に論じた事もあるが、差當り愛國婦人會員諸姉の活動こそ望ましけれ△日韓瓦斯會社にて京城市外に大公園を造る計畫があるそーな、流石に商賣柄至極結構な思ひ付、ドウか早くやつてもらいたいものである。

元花月の仲居頭 おのぶの述懷談 (其の六)

『又た話は變りますが』と話頭を一轉した栗女の調子は頗る若やいで其話も又頗る水々しいものである『アノ統監府が出來まして薨去になつた**伊藤の御前が統監**としてお乘込に成りましたのが三十九年の二月でしたが夫れからと申しますものは御承知の通りの**宴會續き**でモウ**眼の眩る程の多忙さ**御飯だつてオチオチ頂けるのは朝だけ位のものでした、お茶屋の朝御飯ですから皆んなが濟んで仕舞うのは聽て十二時ですものね、晝の十二時頃から夜の二時三時まで立通しでしたものでムいます、其時分の**統監府の御宴會係長**に成つたのはホラアノ**金山尚志**さんでしたがお役人としては珍らしい程の通人で誠に行屆いた方でムいました、鶴原さんのお氣に入りで宴會と云ふ宴會總て金山さんのお取斗ひ入費なぞは幾何入用ても關はないから可成盛んに行れ、金に糸目は附けないんだから、と云つた調子でしたから料理屋仲間でも此の方を丸めて置けば大した利益ですから大切にお取扱ひ申したものです處が此金山さんに**妙な僻**がお有んなさつてね**お酒を召し上**ると廢うかすると**御勘定をお忘れ**になる事がムいますの、エ、チョイ／＼とね、へ、便利だと仰云るの便利か廢うか存じませんが手數の掛らない丈は爭へない事實でムいますよ、オホホホホ』と笑ひ崩れる『其金山さんが關係の事で考へると私共が今日でもヒャ／＼する一大事件がムいますよ、イエ實際の大事件で決して、大變／＼お茶碗が破れましたの類では無いので正に**天下の一大事**なんですが、夫れは斯うでムいます』何時か廻つた酒の醉にトもすると崩れ勝ちなる膝を直して『時は元祿ぢやない明治三十九年の五月、現在も總理大臣で被在る**西園寺の御前**がお歷のお役人方をお伴れになつて滿洲の方から京城にお乘込みになつた時の事でムいます、只今の如に食堂車なんて申しますものはムいませんから**滊車中のお食事**と云ふので金山さんから**お辨當を花月へ御注文**に成りましたから花月でも原料を吟味致しまして差出しました、スルト貴許、西園寺の御前一行の接待員の一人としてお召列車にお乘込中の金山さんから私(おのぶ)に當て、電報が參りました、大概お着に成つてからの御馳走其他に就てのお差圖だろう位に思つて何心なく封を切つて讀み下すと夫れが貴許天下の一大事』胸を抱へたおのぶの顔の血の氣は失せた『其電報の要領を申しますとソノ**辨當を喫べ**たものは**御前初め一同盛**んに**下痢して氣分惡し**原因を取調べろ次第に依つては容易ならんぞと斯うなんでムいます、暫らくは主人は元より料理人藝妓仲居の末に至る迄只モウ顔を見合せた斗りでした』

つて折角の二人の[illegible]あるまいとお茶を[illegible]消ねと成つたのが[illegible]しが此立ち消ねを[illegible]二人君香武藤のみ[illegible]が其後兩人の間を[illegible]だにプスリ／＼燻[illegible]の手が上りトウ／[illegible]を支拂ひ芽出度落[illegible]頃黄金町の夫る温[illegible]なれとツッと仕舞[illegible]て見て喜んで居た[illegible]つ無事な顔を見ん[illegible]盞を開けて見ると[illegible]如何に君香は影も[illegible]りの蛙一疋居ない[illegible]一面探して見たが[illegible]ない、其所で思ひ[illegible]の昔譚しモシャと[illegible]いて試たが夫れら[illegible]其方は先づ安心な[illegible]て來ず温突に手を[illegible]つて決して一時間[illegible]

●珍説『君香の葛籠』

▽人の好過ぎる武藤さん 元新町第一樓の二枚君香と云ふは以前東京新橋日吉町にて左褄を取つて居たのだが誰れにでも盛んに附き纏ふ事情と云ふ油虫に附き纏はれて據なく花の都の東京に見放されホプラの枯枝に鵲の鳴く韓の都に出稼と出掛けたのは一昨年の五月七百圓の前借で花魁へと呼ばるゝ事になつちまつて玉の腕を權兵衛太郎兵衛のフケ臭い頭の枕に代用せしめつゝあつたのを稻荷様も憐れと御覧じやつたと見へて昨年の十月フト登樓したのは誰あらう當地第一流の料亭花月の帳場、女將の阿比留たよしさんとは親子である武藤さん妻子のあるのが聊か玉に瑕の疵なきにしも非ずと雖も慾を申さば際限もなし盈つれば缺くる世の慣ひ物は十分ならぬこそ好けれと根が悧巧の妓丈けに疾くも決心の臍をイナの臍の如く固めて大に盡力した甲斐あり武藤さん自惚鏡の絶頂の火見櫓の家根の上に駈け上つて小手を翳して眼下に豆粒程に微に見へる下界の有象無象を見下してヘッ色男には誰が成るエーッガもねねと隨市川の流れを汲んで納まつた果はお定まりの落籍の一段と成つた所何どやら云ふ末は犬に食はれて死ぬ筈の無粋者があり妻子迄ある身の不量見な、とか何とか仰云

農商工部商工局長 菊池武一君訓辭
京畿道長官 檜垣直右君訓辭

店員寫眞帖

一部金二圓五十錢 代金配本引換

洋裝 美本 掲載寫眞 京城龍山仁川各商店の良店員諸氏全部

過般京城日本人商業會に於て[illegible]美擧あるや世人[illegible]此時に當り本社[illegible]勤務を以て良店員[illegible]的は本社の一大寫[illegible]く微意[illegible]諸氏に對する表彰の[illegible]視すべき所以を知る[illegible]商店に在つて忠實に[illegible]彰及び紹介するの目[illegible]とす、江湖の諸彥[illegible]希

月 日 京城新報社

●京城券番の藝妓二月中席順

▽矢張り若いた妓さん[illegible]藝妓衆が新春初頭の[illegible]り／＼目醒しいもので聊[illegible]何を云ふてもツコは[illegible]無線電信だの以心傳心[illegible]ある今日萬事早解り[illegible]られる先づ首席を占[illegible]んだのが由良家の小[illegible]峯松花家のかず由良[illegible]子と謂つた順で以下[illegible]郞(清)靜江(玉)政奴([illegible]吉(清)市松(由)吉彌[illegible]奴(玉)菊枝(まく)三[illegible]玉)仇吉(玉)い京(玉)[illegible]代(蔦)梅奴(たる)濱[illegible]清)榮次(花の)巴(た[illegible]香(きく)

[illegible]○○さんが遊びの歸[illegible]に人なきを幸ひに一[illegible]藝を演じ損くねた事[illegible]頂戴の幕

●仙友雅會例會 同會二月例會[illegible]第一日曜)旭町一丁目[illegible]前十一時より開催席[illegible]り、外鷲山氏の點茶[illegible]花等もあるよし尙會[illegible]り身分を問はず入會

●八坂樓 仲居 お菊の曲藝

▽敵手は[illegible]時は去る三十日の[illegible]云ふ眞夜中音する[illegible]る風のヒユー／＼[illegible]偵の巡査の草履の[illegible]さして犬の顔すら[illegible]目靜亭の前を一[illegible]楠々として併も男[illegible]め亂痴氣騷ぎを[illegible]ら巡回の警官が[illegible]女は誰か車止まれ[illegible]は度膽を拔かし[illegible]下り逸早く逃走せ[illegible]し取調べを受けし[illegible]樓の仲居山本きく[illegible]仁川山手町一丁目[illegible](二六)仲町二丁目薮田[illegible]郎(二六)同町前川虎次郎(二二)[illegible]後九時半頃ホロ醉機嫌[illegible]を門並素見しつゝ四明[illegible]撿ながら同亭の腰[illegible]主人が立腹し大格鬪[illegible]婦の永井しの女將山[illegible]派出所に訴出で孰れも

●外人の盗難 西部貞洞李花學[illegible]教師マッカー氏方にて[illegible]室内及び食堂に在りし[illegible]ブルクロス三枚價格[illegible]錢を何者にか竊取さ[illegible]出でに接し西大門分署[illegible]中三十一日太平町通り清水質店より該テーブルクロス三枚を太平町一の五六李雲順なる名儀にて二圓に入質しあるを發見し目下犯人の嚴探中

●[illegible]紡戸不詳金根培方金明成(三四)は一日午後三後半頃米倉町二十五番地村田源次郎方醬油釀造場に忍び入り醬油樽を盜み出ださんとする處を家人に捕へられ其筋に突き出さる

●酒狂『暴れ大工』 目下龍山孔德里に新築中の監獄工事に使用せられ居る大工愛媛縣生れ藤原庄吉(四六)と云ふは平素酒癖ありて去る三十一日も何處にて平らげしものか大に泥醉し四五の仲間の者の制止するにも係らず大亂暴をなし危險の恐れあるにより駐在所巡査補之龍山署に同行留置の上醒後説諭の上放還せられたりと

●仁川醫會の施療 原籍熊本縣玉名郡高道村當時仁川寺町一丁目四番地虎作の長男竹本虎吉(三)は昨年十月より發病腹膜炎にて仁川病院に入院治療を加へつゝありしに三男貫(一六)も肋膜炎に罹りたるより家計益々困難に陷り最早醫藥を與ふる能はざる悲境なれば仁川醫會にては一日無料施療券を與へたり

●此眼鏡は何した 二日午前三時半西部毛橋通箭洞入口を急ぎ行く鮮人ありたるに中部巡回中の警官が擧動不審として取調べたるに中部澄清坊外洞二十五統七戶金洪根(三四)とて南部美洞に食事に行くと云ふも携帶品中に海州郡尹晶奎なる名刺及びサック入金縁眼鏡等現はれたれば竊盜嫌疑者として西大門分署に引致

●清國人の賭博 清國山東省生當時仁川牛角洞孫不玉(四〇)同柳町唐美京(四三)同唐金壽(二三)山東省生京町爲洪其(三九)鮮人府内面韓永東(三二)の五名が去一日午後四時三十分頃爲洪其方に於て賭博中京町派出所山田巡査が踏込み珠數繋ぎとなし本署に引致し目下取調中

●農家の福音 東京瀧野川村各國農產種苗問屋桝屋本店より發賣する春時種子種苗は最も吟味精選せる由なれば需用者は安神して購求し得べく該農園は數十年間斯業に從事せる事とて斯界に信用厚く尙本年の材料豊富の由因に稱入說明付美本は申込者へ無代送呈すと云ふ

洋犬紛失

一ドイツ種ポインター牝犬一頭
特徴 毛色白色に肝臟色の大きな點あり 一足半尻短き尾光る
右は『トラ』と呼べば來る 眼前の御方は左記へ御知せ被下候へば相當の謝禮を差上べく候
西大門分署又は 米國總領事館

●西部管内の失火 一日午後三時四十分西部盤松坊杏花洞二三八の十布木商李建浩方物置の柴より發火し四棟を燒失同五時鎭火したるが原因は小兒が燐寸を以て物置内に遊び居る中柴草に火を付けたるより起れるものなりと 南大門外牛頭眼

●辛き目を見る可し

●演藝だより

▲浪花館の圓若 正月元日以來始終大入好人氣を以て打續け居れる三遊亭圓若の一行は曾つても報道したる如く猶當月十五日迄日延べし萬事に賑かに御機嫌を伺へば一層賑々しくお運びの程を願ふ由なり序に昨紙竹園館にて圓若の鬪演したる如く記したるは全く筆者の誤記なりしに付訂正す▲壽座 三日の替狂言は『八犬傳譽の八ツ房』の通しなりと云ふ▲歌舞伎座 浪花節芝居市川小圓次一行三日の狂言は前夜の續きにて『博多五郎』にして切は『南部阪雪の別れ』桃中軒雲童(當年十四歲)の出演は大喝采

平民文庫

▲本日程沒の多い事はあるまい▲日の出校長の無能なると題する川合精一郎氏に關する件▲○○李王職事務官に關する件▲憲兵隊の密偵兼云々と題する件▲鐘路お役所の○○局の密密漏洩と題する件▲客年十一月三日の天長節に龍山養蠶場の一生徒が刑法第七十四條の云々の件▲鐘路邊の某辯護士云々の件▲山番馬渡某の鮮人と密約云々の件▲大和新地の娼妓ですが新町病院の杉原醫師は云々の件▲以上は總て沒です

(係)▲若草半人君にお答へする一項人名を申上ぐるに憚れども斯業に關して充分の智識ある人、二項希望に依りては秘密を守るべし元來秘密は絶對のものと承知し居れり(係)▲京城程御用商人の多い所は無い鐘路の辨當屋には『官衙御用達』と新らしい看板を上げた聞けば監獄から時々辨當の注文を受けるからだ相だ此調子で行くと追々には下駄の齒入、羅宇のすげ替へ迄も『官衙御用達』の看板を掛るだらうさ(黃金湯)▲現在有ります南山町の理髪屋の金看板を御覧じろ『總督御用』(小僧)▲額信紙で鼻汁を拭き／＼歩行いて居る官吏を往々見受けるが何毛何絲の微を云ふて現在朝鮮の商賣人が閑暇で困つて居るも顧みず大阪商人を保護する如な妙な購買法を改めて斯う云ふ所を少々取締つたらドチャ[illegible]かい自分で氣の注かん所は他人の注意で改めないぢや駄目だよ(風開子)▲太平町の太平湯が休業してるんで附近の住民は此寒いのに遠い所まで這ひ出ねばならんので大弱り警察署から一つ干渉して開業さして下さい(への字)▲大に憚りさま(小僧)

廣告

解傭廣告

伊藤恭次郎
右の者今般解傭致し候間爾今當店に一切關係無之此段廣告候也
一月三十一日 京城本町四丁目 石炭商 三共商會

朝鮮改題
朝鮮及滿洲

第四十八號 二月號 每月一回一日發行 一部二十五錢半ヶ年一圓五十錢一ヶ年二圓八十錢

▲支那の革命と滿洲經營 ▲經濟上の臺灣 ▲觀たる朝鮮と滿洲 ▲各道內務部長歷訪記 ▲朝鮮人と滿洲人 ▲滿洲見物 ▲朝鮮印象記 ▲名士青年備忘錄 ▲朝鮮及滿洲問答

改題と共に活動また活動せる本誌の勇姿を見よ

發行所 京城旭町一丁目(電話一二五〇番)振替貯金京城一三〇 朝鮮雜誌社
大賣捌所 京城本町二丁目(電話一四五番) 日韓書房

株式會社 百三十銀行 第二十七期營業報告
貸借對照表

資產	金額
諸貸出金	三、四四三、五四六、四三七
有價證券	三、八八六、八四一、八〇〇
預ヶ金	四一四、五三六、七三五
他店へ貸(九八九ヶ所)	九九六、三四三、四四〇
拂込未濟資本金	一、一八七、五〇〇、〇〇〇
地所建物	一二五、二九五、三一九
物件器具	六八五、九九三、二〇〇
質物流込	九、六八二、〇〇〇
諸證券	三三、五六五、一〇〇
買入元金	一、三六四、五七三、九〇〇
勘定	[illegible]
金銀勘定	[illegible]
合計	[illegible]

負債	金額
諸預り金	[illegible]
支拂送金	[illegible]
爲替手形	[illegible]
未拂利息	[illegible]
既收利息	[illegible]
借入金	[illegible]
他店より借(九ヶ所)	[illegible]
資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
支拂未濟配當金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金勘定
一金拾萬四千五百九拾四圓四拾錢參厘 純益金
内譯
金五千圓 積立金
金七千五百圓 役員賞與金及交際費
金八萬七千五百圓 優先株式配當金年八分
金四千五百九拾四圓四拾錢參厘 後期繰越金

右之通候也
明治四十五年一月
株式會社 百三十銀行
取締役頭取 安田善三郎
副頭取 高橋長秋
取締役 小川爲次郎
取締役 小西又助
常務取締役 富田卯之助
取締役 森本淸兵衛
取締役 右近和作
營業部長 森脇茂
朝鮮代表者 佐野直喜
監査役 内藤爲三郎
監査役 河村淸七
監査役 渡邊至
監督 安田善次郎
前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也

電話九百何十四番
右讓渡したし入用の方は 二千〇七十一番へ

彩色繪入 說明付き 種苗案内御申越次第無代進呈
絶好なる良種苗を安價に求めんとする諸客へ
純粹 東京瀧野川 各國農產 種苗問屋 桝屋本店 振替口座東京八六六〇番

貸家 南山町二丁目總督府前風景絶佳官吏に適當家賃一ヶ月五十圓
京城本町二丁目 辻屋

▲貸金 一月十二日左記の處に移轉仕候 俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候
京城旭町一丁目府廳裏より三丁目に拔る小路 電話一〇五六番 高橋

● 諸公債株券 現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業 蔵官衙御用達 新製洋服小賣
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店
田中友吉商店
電話九九三（番）

田 壽 目薬
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

健胃下腹丸（けんゐかふくぐわん）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

猪飼胃散（ゐかいいさん）
胃病ですか 飲すぎか 食すぎか
定價 十六錢 卅錢 五十錢 一圓
本舗 大阪 猪飼史郎
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

商標 三味噌
京城南大門通三丁目
製造元 遠藤廣吉商店
（電話九八一番）

大募集
二十世紀新美術的家屋にして都市遊地を開く
男女老幼共に新築を自宅に於て從事し得らる
收入圓以内本品は輸出向
休製品は永年販賣し得
乙種八錢郵券送れ
大阪北區梅田町 高橋商店 直輸部
振替口座大阪一四三九六番

世界一の藥
かぜにはりかぜぐすり
本舗 大阪 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

京城南山町二丁目
小倉齒修所
（伊藤組角に入る）

營業項目
牛乳搾取業 家畜飼養繁殖 畜産物賣買 家畜飼料販賣 種牛種付及貸牛 其他畜産業一切
○牛乳販賣は京城牛乳一手販賣所へ委託致候間従來通同所へ御用命被下度候
○洋牛及朝鮮改良種牛々多数繁殖致候間御賣求願上候
京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）
江華島 荒井第二牧場

新荷着
厚物 薄物 鐵板 各種
浪板 平板 各種 垣用線
京城本町二丁目
和洋金物商 佐野彦藏商店
（電話一六〇番 振替口座京城一二〇番）

西洋 タバン懐中時計會社 朝鮮代理販賣店
米國アンソニア懐中時計朝鮮特約販賣店
本日掛置時計 明治時計 朝鮮代理店販賣店
各種蓄音器 御小賣取次店
各官衙御用達 時計卸小賣商 喜多金光堂本店 京城本町三丁目（電話一〇五番）
時計商 喜多金光堂支店 仁川本町三丁目（電話七〇番）

各種名炭 上等石炭
日本産石炭各種 金谷炭 唐津炭 平壌無煙炭 無煙塊炭 粉炭
石炭直輸入商 西崎商店 京城西小門通四十番 電話七二七番

紙と印刷
諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店 京城永樂町二丁目 電話百拾番

最上醤油
商標
釀造元 仁川港萬石町 高杉醤油釀造場 電話七六五番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
支店出張所 大阪、仁川、平壌、元山、大邱、鎮南浦、新義州、安東縣、釜山、群山、馬山、木浦、羅南
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

洋藥 賣藥 問屋
京城本町一丁目（郵便局前） 山岸天佑堂藥房 電話三七三番 振替二〇二番

醫科 理化學 器械
京城本町一丁目（府廳前） 同機械部 電話一〇六番

元祖 食パン
菓子パン アンパン各種
總督府各官衙御用 陸軍御用
製造 小賣 卸商 京城太平町一丁目 相川兄弟商會（電話一八九番）
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店（電話二七六番）

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 數學具 校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
新案韓語聚發賣所 韓語指南
朝鮮京城本町三丁目 平田商店 用政教育品一手達部
電話 一五番 振替口座京城四六八番

優等清酒
釀造販賣元 仁川港 吉金酒店（電話七六番）

朝鮮 人參漬
補血強壯無比の珍菓
本店 京城本町二丁目（電話一二五〇番）
第一支店 同 本町一丁目（電話三四番）
第二支店 同 本町三丁目（電話三二番）
大路支店 大和町一丁目（電話三〇番）
木浦支店 木浦銀座通
工場 京城水標町一丁目（電話一九〇二番）

名産 人參漬 人參蜜 人參飴
製造元 海市商會（振替口座京城四八番）

創立明治五年六月
資本金 百二十五萬圓 積立金 六十万七千圓
貨物運送取扱 危險擔保運送 貨物引換證發行 品代金貨物取扱 税關貨物取扱
内國通運株式會社京城支店 電話七〇九番
本店 東京市日本橋區佐内町三番地
支店 京城南大門驛前
釜山出張所 釜山驛前 電話三三七番
草梁出張所 草梁驛前 電話九〇四番
仁川出張所 仁川驛前 電話六〇六番
龍山派出所 龍山驛前 電話五二一番
平壌出張所 平壌驛前 電話二〇六番

誠ハ弊店ノ主義也
登録商標 誠
釀造元 仁川山根町二丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號（マ）

政宗 正則 清正 釀造元
酒 小賣壹升に付三十五錢
御注文は壹升以上店員をして速達致すべく候
清酒 味醂 燒酎 釀造元 中井酒造場販賣部
京城壽町三丁目 電話百七十七番

直輸入元 酒精アルコール
仁川花町一丁目（電話六五〇番） 坂倉支店

眼科專門
京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院
大韓醫院眼科部長 金井豊七
電話一五六番

唐揚白米 龍山精米所

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院長 醫學得業士 中島貞信

大坂瓦斯コークス 並に器具一式
國定教科書 文房具賣捌 百崎金港堂 京城本町二丁目 電話五四八番

二月中 滊船出帆廣告
成鏡丸 二月 日
三島丸 二月 日
海天丸 二月 日
大滊船 二月 日
海陽丸 二月 日
仁川本町四丁目 秋田商會船舶部 電話二九番
仁川本町 堀商會船舶部 電話七五番
荷客取扱所 仁川本町 柴田回漕店 電話五二番
山本回漕店